

《学び合い学習の約束について》

課題解決学習において、グループで話し合い、意見交流する活動を取り入れることは重要です。なぜなら、話し合いを進める上で他の生徒の意見を理解して内容を一つにつないだり、他の意見を自分の考えに生かそうとしたりすることで、「他者の意見をどのように聞きとればよいか」「自分の意見を正確に伝えるためには、どのように表現すればよいか」という意識が働き、思考力・判断力・表現力やコミュニケーション能力などが育まれていくと考えられるからです。

ここでは、この活動を「学び合い学習」と呼びます。以下に、「学び合い学習」を行う上で大切にしたいことを示します。これらを理解し、学習を効果的に進めてください。

1. 「学び合い学習」とは

「学び合い学習」とは、グループになっていろいろな考えを出し合い、多様な考え方に気付くことで自分の考えを広げたり深めたりする活動です。単位時間構造図（「単元・単位時間構造図について」を参照）においては、プロセス2の「交流と再構築」に位置付けています。

「学び合い学習」においては、次のことを大切にしています。

（1）キーワードを用いて、自分の考えをあらかじめ文章化する

ここでいうキーワードとは、授業の最初に教科書などの資料から読み取り、全体の場で確認する「その時間に習得すべき知識」（「単元・単位時間構造図について」参照）のことです。自分の考えは、文章化することで確かなものとなり、自信をもって意見交流に臨めます。またキーワードを活用することで、知識の習得にもつながるでしょう。

（2）自分なりの表現で交流する

うまく文章にまとめることができなかつたり、途中までしかまとめられていなかったりしても、必ず交流に参加します。相手意識をもって意見を聞き取り、自分の考えを説明しようとすることで、論理的な思考が育まれ、表現力も徐々に高まっていきます。

（3）知識を再構築する

他の生徒の意見を聞いて、自分の考えを見直します。これを知識の再構築と呼びます。見直して変わった考えは、必ず文章化します。このように多様な考え方に気づき、他の生徒の意見を生かすことで、思考が広がったり深まったりします。また、このような中で、お互いを認め合い尊重し合える関係づくりをめざします。

2. 学び合い学習を進めるに当たって

「学び合い学習の約束」は、交流の進め方、聞く姿勢や話す姿勢についての基本的なルールです。「進め方」では、主に司会の役割や交流の内容を、「発表の仕方」では、考えの根拠を示すことや自分の立場をはっきりさせることを、「発表の聞き方」では、他の生徒の意見を参考に自分の考えを見直すことを示しました。課題解決学習を始めるに当たり、事前指導を行う際に活用してください。これらのルールを理解して取り組むことで、「学び合い学習」が円滑に進み、交流の充実を図ることができるでしょう。

学び合い学習の約束

ねらい

◎いろいろな意見を聞いて、自分の考えを広げたり深めたりする。

進め方

- その1) グループになりましょう。(基本は4人)
- その2) 司会者を決めましょう。司会者は順番に回します。
- その3) 全員の意見を聞きましょう。同じ意見でも、自分の言葉で発表してもらいましょう。
- その4) 交流する内容は、主に次のとおりです。
 - ①どのような仮説をたてましたか。それはなぜですか。
 - ②検証するのに適切な資料は何(どれ)ですか。どのような結果になりましたか。
 - ③他の人の意見を聞いて、どのように考えましたか。
→自分の意見の変化や質問でもかまいません。
- その5) 意見が出なくなったときは、違う見方をしたり、話題を変えたりしてみましょう。
- その6) 話のポイントがずれたときは、修正しましょう。
- その7) 他の人の意見を否定してはいけません。対立意見はかまいません。

発表の仕方

- その1) 聞いている人の顔を見て、聞いている人に聞こえるように発表しましょう。
- その2) どのような意見でも、自分の言葉で発表しましょう。
- その3) できるだけいろいろな角度から考えて、たくさん意見を出してみましょう。
- その4) 自分の考えを発表する時は、必ず根拠(そう思った理由)を示しましょう。
- その5) 資料のどの部分から考えたのか、他の人にわかるように示しましょう。
- その6) 他の人の意見に対して自分の意見を発表するときは、自分の立場をはっきりさせましょう。(賛成、反対、付け足し、違う意見など)

発表の聞き方

- その1) 発表している人の顔を見て聞きましょう。
- その2) 自分の考えと比べながら聞きましょう。
- その3) 発表された意見のポイントや、自分の考えと違うと思った内容を書き留めておきましょう。してみたい質問があれば、それも書いておきましょう。
- その4) 他の人の意見をもとに、自分の考えを見直してみましょう。考えが変わったり発展したりした部分は、理由をあげて書いておきましょう。